

国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院

脳神経外科 医師

募集要項

2024.9

募集科目	脳神経外科 医師（複数名）
役職	一般常勤
年棒	<p>基本給 750 万円～ 950 万円（賞与、手当別途支給）（週 5 日勤務の場合）</p> <p>※令和 5 年度医師の実際の年収 1315 万円～ 2345 万円                  （扶養手当、職務手当、住居手当、通勤手当、年末年始手当、時間外手当、当直料、賞与、診療賞与、賞与加算、決算奨励金を含む）                  時間外手当と当直料を除くと 1239 万円～ 1796 万円</p> <p>○ご経験等によりご相談の上決定いたします                  ○診療賞与とは夏期・冬期賞与とは別に年 4 回支給される賞与で、16 万円～ 19 万円の基本部分に加え当直や夜間休日の外来診察、入院などに対するインセンティブを含んでおります。                  ○賞与加算は前期の収支に応じて、決算奨励金は前年度の収支に応じて支払われます。</p>
勤務時間	全日（平日） 8：30～17：15 早番：特になし 遅番：特になし
勤務日数	5 日／週 ※週 4 日勤務相談可能
休日	暦どおり
休暇	<p>有給休暇は法定通り付与：採用月から発生</p> <p>初年度は就職月により異なり、4 月採用（15 日間）～ 3 月採用（2 日間）、2 年目以降は年間 15 日間                  その他、季節休暇 5 日（夏期休暇）・年末年始休暇 6 日（12 月 29 日～ 1 月 3 日）等</p>
加入保険	社会保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険
福利厚生	全国に保養所、提携ホテル有り
試用期間	なし
固定残業の有無	なし
当直	<p>当院の当直はファーストタッチの ER 当直になりますので脳神経外科医にはこれをお願いせず、専門診療科として脳神経外科オンコール体制の確立を目指したいと考えております。                  ただウオークイン患者担当の夜間 ER 当直・休日日直に入っただけということであれば大歓迎です。</p>
当直手当	<p>7.6 万円 -8.6 万円 / 回                  （これに診療賞与での外来診察 1000 円 / 人、入院 5000 円 / 人のインセンティブが加わります。）</p>
オンコール	<p>夜間・休日の脳神経外科救急受け入れに際してはオンコール体制が基本になると考えております。                  今後、脳神経外科オンコール体制の確立を目指したいと考えております。</p>



## 大阪府下の医療需要の大きな地域の公的病院で 脳神経外科チームの立ち上げに参画しませんか？

枚方公済病院は313床の急性期病院で、循環器内科救急では全国でも屈指の症例数を誇っております。当院ではこれまで脳神経外科診療は全く行なっておりませんでした。脳卒中リスクの高い循環器内科かかりつけ患者は非常に多いのですが、これまではかかりつけ患者が脳卒中を発症された場合でも当院で入院診療を行うことが出来ない状況でした。また地域の脳神経外科診療供給体制は非常に薄く、この地域の急性期脳卒中患者が京都府南部の病院に搬送されることも稀ではありません。このような状況を打開するため当院で脳神経外科診療を立ち上げる方針を決定し、**2024年8月より脳神経外科常勤医1名(所属医局無し)**が着任されました。昭和56年御卒業で手術経験豊富であり、脳神経外科診療立ち上げに強い意欲を持っていただいております。大変気さくな先生です。さらに**2025年4月までにはもう1名48歳の脳神経外科常勤医(医局人事外)**の入職が内定いたしました。2人目の脳神経外科常勤医が着任された時点で夜間休日の脳神経外科救急診療を開始する予定です。将来的には**24時間、365日脳卒中患者や頭部外傷患者を受け入れること**の出来る脳神経外科チームを編成して行く決意です。お二人とも血管内治療の御経験が少ないので、独立して血管内治療の出来る先生に脳神経外科チームにご参画いただければと願っております。現在、多くの病院で少人数の脳神経外科医が地域の脳神経外科救急を担っておられる厳しい状況であると認識しております。当院では脳神経外科医の働き方にも十分に配慮しつつ、長期的視野に立って常勤医5名程度の脳神経外科チームの体制構築を目指します。

### 【当院の強み】

- ・ 循環器救急を中心とした内科救急で救急隊の当院に対する信頼は非常に厚く、脳神経外科救急患者の受け入れを開始した場合に多くの患者を搬送いただける素地があります。
- ・ 時間帯を問わず緊急あるいは予定外のCT、MRI(1.5T)検査が実施可能です。
- ・ CTについては1台体制ですが、最新のハイスpekCT装置導入し2台体制とする予定です。また院外からの放射線検査画像閲覧システムを導入しました。
- ・ 手術枠にはまだ余裕があり、手術室の雰囲気は非常に良好です。
- ・ 他科医師との協力体制が密で、特に全身状態の悪い患者のバイタル管理については脳神経外科患者もHCU担当の循環器内科医が強力にサポートします。
- ・ 看護師、薬剤師、コメディカルが非常に優秀で、医師に対しきわめて協力的であることは驚くほどです。特にリハビリテーション部門は人員も多く非常に活発です。さらに手術室看護師は外科系医師から非常に高く評価されています。
- ・ 当院の医師は仕事のオンオフがはっきりしており、年次休暇も取りやすい雰囲気です。
- ・ 病院長が脳神経外科の立ち上げを病院の最優先課題の一つとして取り組んでおります。

### 【当院の弱点】

- ・ 当面、血管造影装置は循環器内科と共用で2台ですが、バイプレーン血管造影装置はありません。長期的にはバイプレーン血管造影装置の導入を考えております。

この医療需要の大きな地域の公的病院で脳神経外科チームの立ち上げに参画して  
一旗揚げようという先生の応募をお待ちしております。

文責：病院長 木村 剛

#### 連絡先

〒573-0153

大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号 TEL 072-858-8233 (代表)

国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院 病院長 木村 剛

Email: [taketaka@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:taketaka@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

